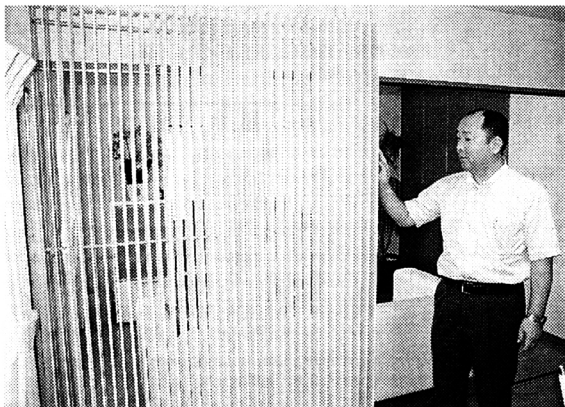


# 遠赤外線利用の空調

藤崎建設工業 来月から施工販売



特殊セラミックスを塗布した放射板。インテリアとしてデザイン性も高めた＝神栖市大野原

賃貸マンション建設の藤崎建設工業(行方市新宮、藤崎政行社長)は、遠赤外線を出す特殊セラミックスを使った空調システム「光冷

暖システム」の特許使用権を取得し、県内で施工販売を始める。エアコンのように空気を冷暖房せず、遠赤外線の共鳴現象を利用して室内温度を保つ仕組みで、電気代を半分程度に減らせるのが特徴だ。

システムは遠赤外線を出す特殊セラミックスの粉体を塗布した放射板を屋内に設置し、壁にも特殊セラミックスを塗り込むことで、放射熱を共鳴させ、部屋全体に放射熱を行き渡らせる。放射板内には、室外のヒートポンプ(熱源装置)から夏は冷水、冬は温水を循環させ、温度を一定に保ち、夏は25度程度に保てるという。

初期費用は設備や塗装で約55平方メートルの部屋で200万円、新築で300万円程度から。システムは、全国で岩盤浴チェーンを展開する「石の愈」(福岡市)が開発。藤崎建設工業は代理店として県内中

心に施工する。神栖市園、美容室などに普及を図るほか、自社マンション内にモデルルームを7月中旬に開設。夏に向け節電強化する病院や高齢者施設、保育

(綿引正雄)

貸する計画だ。